

安全データシート

発行日：2015年6月1日

改訂日：2023年10月10日

版：第5版

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称

製品名 モーターアップ 2.0, モーターアップ Reset

他の特定手段

SDS 番号 MU-001

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 ガソリンエンジンオイル強化剤

安全データシートの供給者

JSM東京株式会社.

住所

〒105-0013 東京都港区浜松町2-2-15 2階

緊急連絡先

会社代表番号 +81-3-6693-0094

2. 危険有害性の要約

外観 琥珀色の液体

物理的状态 液体

臭い 特異臭

分類

本化学品は、米国労働安全衛生局（OSHA）の危険有害性周知基準（Hazard Communication Standard、2012年、29 CFR 1910.1200）で規定された危険有害性の基準に該当するものではない。

消防法：第4類 第4石油類 危険等級Ⅲに該当

この安全データシート（SDS）には本製品の安全な取扱い及び適切な使用のために不可欠な有用な情報が含まれる。この SDS は、従業員及びその他の本製品の使用者のために保管し、利用できるようにしておく必要がある。

3. 組成及び成分情報

化学名	CAS 番号	重量 %
水素化重質パラフィン系石油蒸留物	64742-54-7	80 ~ 100
高度水素化処理重質ナフテン系石油蒸留物	64742-52-5	< 1

化学名・CAS 番号が「機密扱い」となっている場合、または重量% が範囲として記載されている場合、特定の化学的同一性または組成の割合は企業秘密として非公開であることを示す。

4. 応急措置

応急措置

一般的なアドバイス	治療を行う医師にこの安全データシートを提供すること。
眼に入った場合	上下のまぶたを持ち上げながら、15 分以上、大量の水で十分に洗い流す。 医師に相談すること。
皮膚に付着した場合	直ちに大量の水で 15 分以上洗い流すこと。汚染された衣服や靴を脱ぐ。刺激の生じた皮膚はエモリエント剤で覆う。医師の手当てを受けること。
吸入した場合	新鮮な空気のある場所に移す。呼吸していない場合は、人工呼吸を行う。呼吸が困難な場合は、酸素を供給する。刺激が続く場合は医師の手当てを受けること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。嘔吐を誘発しないようにする。意識がある場合は、水または牛乳を与える。医師の手当てを受けること。

最も重要な症状及び作用

症状	眼を刺激するおそれ、飲み込むと有害であるおそれ、皮膚を刺激するおそれがある。
----	--

必要な救急処置や特別な処置についての指示

医師に対する注意事項	症状に応じて治療すること。
------------	---------------

5. 火災時の措置

適切な消火剤

現場の状況や周囲の環境に適した消火手段を用いること。

不適切な消火剤 未確定。

化学品に特有の危険有害性

この物質は、着火しにくいものの、燃える。

危険有害な燃焼生成物 熱分解により炭素酸化物が発生するおそれがある。

爆発に関するデータ

消火活動を行う者の保護具及び注意事項

他の火災と同様に、MSHA/NIOSHにより承認済みまたは同等のプレッシャデマンド型自給式呼吸器及び全身防護服を着用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

人体に対する注意事項 必要に応じて個人用保護具を使用すること。

環境に対する注意事項

環境に対する注意事項 その他の環境保護情報については、第12節を参照すること。

封じ込め、浄化の方法及び機材

封じ込め方法 安全に行えるならば、それ以上の漏出や流出を防ぐこと。

浄化方法 漏出源または放出源を止めること。「ばく露防止及び保護措置」に記載されている注意事項を遵守し、可能な限り速やかに漏出物を浄化すること。土壌、地表水または地下水のさらなる汚染を防ぐために、液体を封じ込める。吸着材やポンプなどの適切な技術を

使用して、少量の流出物を浄化する。必要であれば堰を設ける。実行可能で適切な場合、汚染された土壌を除去する。大規模な流出に対する報告および対応については、所定の手順に従うこと。

7. 取扱い及び保管上の注意

安全な取扱いに対する注意事項

安全な取扱いに関するアドバイス 使用前に本製品の取扱説明書を入手すること。すべての安全に関する注意事項を読み、理解するまで取り扱わないこと。必要に応じて個人用保護具を使用すること。容器を乾燥させておくこと。容器を密閉して保管すること。結晶化を防ぐため、22 °C (72 °F) 以上で保管すること。すべての開封済み容器を注意深く取り扱うこと。直火、熱、その他の発火源の近くにおける取扱いや保管はしないこと。直射日光を避けること。空の製品容器には、製品の残留物が含まれている可能性がある。空容器を再利用しないこと。水との接触を避けること。

安全な保管条件（混触危険物質についてを含む）

保管条件 風通しが良く、乾燥して、涼しい場所に、容器を密閉して保管すること。

混触危険物質 強酸化剤

8. ばく露防止及び保護措置

ばく露に関するガイドライン

化学品	ACGIH TLV	OSHA PEL	NIOSH IDLH
高度水素化処理重質ナフテン系 石油蒸留物 64742-52-5	TWA : 5 mg/m ³ (オイルミスト) STEL : 10 mg/m ³ (オイルミスト)	TWA : 5mg/m ³ (オイルミスト) STEL : 規定なし	TWA : 規定なし STEL : 規定なし

適切な技術的管理

技術的管理 シャワー。洗眼器。換気システム。

個人用保護具など個人の保護対策

眼・顔面の保護 飛沫用ゴーグルまたは安全眼鏡。

皮膚及び身体の保護 長袖を推奨する。耐薬品性手袋。

呼吸器の保護 呼吸器保護具の要件については、29 CFR 1910.134 を参照すること。

一般的な衛生上の注意点 適切な産業衛生上及び安全に関する手順に従って取り扱うこと。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的・化学的性質に関する情報

物理的状态	液体		
外観	琥珀色の液体	臭い	特異臭
色	琥珀色	臭いの閾値	未確定
性質	値	備考・方法	
pH	未確定		
融点 / 凝固点	未確定		
沸点 / 沸点範囲	> 260 °C / 500 °F		
引火点	207 °C / 405 °F		Cleveland Open Cup ASTM D92
蒸発速度	エーテルより遅い		
可燃性 (固体、気体)	液体 (非該当)		
可燃限界 (空气中)			
燃焼上限	未確定		
燃焼下限	未確定		
蒸気圧	未確定		
蒸気密度	空気より重い		
比重	未確定		
水溶性	未確定		
その他の溶媒への溶解性	未確定		
分配係数	未確定		
自然発火温度	未確定		
分解温度	未確定		

粘度	25.9 mPa s (40 °C)
動粘度	未確定
爆発性	未確定
酸化性	未確定

その他の情報

10. 安定性及び反応性

反応性

通常の条件においては反応性なし。

化学的安定性

推奨される保管条件においては安定である。

危険有害反応可能性

通常の処理においては特になし。

避けるべき条件

子供の手の届かないところに保管すること。

混触危険物質

強酸化剤。

危険有害な分解生成物

熱分解により炭素酸化物が発生するおそれがある。

11. 有害性情報

可能性のあるばく露経路に関する情報

製品情報

眼接触 眼に触れないようにする。

皮膚接触 皮膚に触れないようにする。

吸入 吸入しないこと。

経口 飲み込まないこと。

成分情報

化学名	ATEmix (経口)	ATEmix (経皮)	吸入 LC50
水素化重質パラフィン系石油蒸留物 64742-54-7	> 15 g/kg (ラット)	-	-
石油蒸留物 (水素化軽油) 64742-47-8	> 5000 mg/kg (ラット)	> 2000 mg/kg (ウサギ)	> 5.2 mg/L (ラット) 4 h

物理的、化学的及び毒性学的作用に関する情報

症状 症状については、本安全データシートの第4項を参照すること。

短期的及び長期的ばく露による直後、遅発性及び慢性的作用

発がん性 下記の成分は石油類に属しており、精製度により発がん性物質が含まれることが示されている。なお、ジメチルスルホキシド抽出物の含有量が3%未満であることを示すことができれば、発がん性分類を適用する必要はない。

化学名	ACGIH	IARC	NTP	OSHA
水素化重質パラフィン系石油蒸留物 64742-54-7	A2	グループ1		X

略称に関する説明

ACGIH (American Conference of Governmental Industrial Hygienists、米国産業衛生専門家会議)
A2: 疑わしいヒト発がん性因子 (Suspected Human Carcinogen)

IARC (International Agency for Research on Cancer、国際がん研究機関)
グループ1: ヒトに対する発がん性あり (Carcinogenic to Humans)

OSHA (Occupational Safety and Health Administration of the US Department of Labor、米国労働省労働安全衛生局)
X: リスト掲載

毒性に関する数値的尺度

12. 環境影響情報

生態毒性

本製品は環境に対する危険有害物質として分類されていない。しかし、大量または頻繁に流出した場合、環境に有害な影響や損害を与える可能性は排除されない。

成分情報

化学名	藻類・水生植物	魚類	甲殻類
水素化重質パラフィン系石油蒸留物 64742-54-7		LC50 : 5000 mg/L、96 h、ニジマス (<i>Oncorhynchus mykiss</i>)	EC50 : 1000 mg/L、48 h、オオミジンコ (<i>Daphnia magna</i>)
石油蒸留物 (水素化軽油) 64742-47-8		LC50 static : 2.2 mg/L、96 h、ブルーギル (<i>Lepomis macrochirus</i>) LC50 flow-through : 45 mg/L、96 h、ファットヘッドミノー (<i>Pimephales promelas</i>) LC50 static : 2.4 mg/L、96 h ニジマス (<i>Oncorhynchus mykiss</i>)	LC50 : 4720 mg/L、96 h、 <i>Dendronereides heteropoda</i>
高度水素化処理重質ナフテン系石油蒸留物 64742-52-5		LC50 : 5000 mg/L、96 h、ニジマス (<i>Oncorhynchus mykiss</i>)	EC50 : 1000 mg/L、48 h、オオミジンコ (<i>Daphnia magna</i>)

残留性・分解性

未確定

生体蓄積性

未確定

移動性

未確定

その他の悪影響

未確定

13. 廃棄上の注意

廃棄物処理方法

廃棄物処理

地域、国、地方の該当する法律や規制に従って廃棄すること。

汚染された容器

地域、国、地方の該当する法律や規制に従って廃棄すること。

14. 輸送上の注意

注意事項

免除や特別な状況など最新の輸送情報については、その都度、船積書類を参照すること。

DOT

規制なし

IATA

規制なし

IMDG

規制なし

15. 適用法令

各国の化学物質リスト

TSCA	準拠
DSL/NDSL	準拠
EINECS/ELINCS	-
ENCS	準拠
IECSC	-
KECL	-
PICCS	-
AICS	-

略称に関する説明：

TSCA：米国有害物質規制法（Toxic Substances Control Act）第8条（b）のリスト

DSL/NDSL：カナダ国内物質リスト（Domestic Substances List）、非国内物質リスト（Non-Domestic Substances List）

EINECS/ELINCS：欧州既存商業化学物質リスト（European Inventory of Existing Chemical Substances）、欧州届出化学物質リスト（European List of Notified Chemical Substances）

ENCS：日本化審法の既存化学物質リスト（Existing and New Chemical Substances）

IECSC：中国現有化学物質名録（Inventory of Existing Chemical Substances）

KECL：韓国既存化学物質目録（Korean Existing and Evaluated Chemical Substances）

PICCS：フィリピン化学品・化学物質リスト（Philippines Inventory of Chemicals and Chemical Substances）

AICS：オーストラリア既存化学物質リスト（Australian Inventory of Chemical Substances）

米国連邦規則

SARA 313

1986年スーパーファンド法改正および再授權法（SARA）第III巻第313条。本製品には、同法および連邦規則集第40巻パート372の報告義務の対象となる化学物質は含まれていない。

米国州法規制

米国各州の知る権利に関する法規制

本製品には、知る権利に関する、該当する州規制で規制されている物質は含まれていない。

16. その他の情報

<u>NFPA</u>	健康障害	燃焼性	不安定性	特記事項
	2	1	0	未確定
<u>HMIS</u>	健康被害	引火性	反応性/物理的危険	個人用保護具
	2	1	0	未確定

発行日：	2015年6月1日
改訂日：	2023年10月10日
改訂に際しての注記：	引火点を訂正

免責事項

この安全データシートに記載されている情報は、発行日時点の知見や情報に基づき正確を期したものです。ここに記載されている情報は安全な取扱い、使用、加工処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理などの指針とすることのみを目的としたものであ

改訂日：2023年10月10日

り、いかなる保証もするものではなく、また品質仕様でもありません。本情報は、指定された特定の材料にのみ関連するものであり、本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの材料と組み合わせて使用した場合、または何らかのプロセスに使用した場合には、有効でなくなる場合があります。

安全データシートの終わり